

第60号

はこぞき新聞

平成30年1月1日発行

箱崎睦会HP
箱崎町箱四町会HP<http://hakozaikumutsumi.kashiore.jp/>
<http://www.hakozaki4.cher-ish.net/>発行者：
箱崎環境対策協議会
はこぞき新聞編集部
中央区日本橋箱崎町34-8
Tel 03-3667-5667
協賛：
日本橋法人会箱崎支部平成三十年
戊午

箱崎町の皆さま、明けましておめでとうございます。

新しい年を迎え、新鮮な気持ちになられたと思います。

昨年は、三年に一度の深川・富岡八幡宮の例大祭が行われました。無事に終わり、ほっとしています。お祭りの奉賀金を集めるのは大変でしたが、各町会の皆さまのおかげで目標額を達成できました。再来年もよろしくお願いします。

また、7月に行われた隅田川河畔でのビアパーティも盛大でした。何ごとも、町会員皆さまのご協力無しでは成り得ません。

さて、このところ箱崎町では多くのマンション建設が進んでいます。新しいマンションの住民と従来からの住民がイベントなどを通じて仲良く暮らして行く必要があると思います。

箱崎の街をより良くするために、子供も大人もイベントを通じて細く長く付き合っていきたいと思っています。

箱崎二・三町会 町会長 加藤恵一

連合渡御DVD完成

昨年夏の感動を再び…。

神輿連合渡御の箱崎神輿の様子を収めたDVDが完成しました。朝の出発式から、各所で清め水を浴びるシーン、差し上げ、楽しげに担いでいる担ぎ手の表情などが映っています。

また、箱崎町へ戻っての町内渡御で大きく盛り上がったシーンも必見です。

神輿渡御の撮影は初めてだったと言う有限会社デジワンさんには、大変お世話になりました。この場をお借りして、お礼を申し上げます。

宮田商店(箱3-4)、朝日製菓(箱11-2)、カフェカルモ(箱25-8)、皆川酒店(箱26-1)にて¥1,000で発売中です。

箱崎睦会・広報 川崎、会田



町内渡御のワンシーン

新年あけまして
おめでとうございます

昨年は総代として2回目の本祭りを無事終わることができました。これもひとえに祭典委員長をはじめ実行委員会、そして町会や睦会など様々なお関係者様のおかげと深く感謝しております。この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、本年は富岡八幡宮二の宮神輿渡御が行われます。二の宮は本祭りとは違い、本社二の宮神輿を各部会(箱崎新川地区は七部会)で引き継ぎリレー方式で氏子地域を回ります。詳細はまだ確定していませんが箱崎は今年もコースに入ると思います。総代一同、本部や新川地区との連携をはかり、箱崎の皆さまに楽しく二の宮を担いでいただけるよう力を尽くしますのでどうぞよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、北新堀町会大塚町会長より渡邊健一君を総代に推薦いただきまして、昨年末の正副町会長会議にて承認していただきました。本年1月29日の神輿総代連合会本部総会で正式に承認される運びとなります。現総代同様、渡邊君への皆様からのご指導ご鞭撻をお願いいたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

箱崎北新堀町会 神輿総代 岩田将東



各町会の新年会開催のお知らせ

箱崎北新堀町会

1月26日(金)

18時00分～

TCATさくらにて

箱崎二・三丁目町会

2月上旬開催予定

箱崎町箱四町会

1月25日(木)

18時00分～

TCAT龍鳳にて

箱四町会バスハイク

11月19日（日）は朝から快晴で、おだやかな一日でした。参加者32名を乗せたバスは朝8時に箱崎を出発し、アクアラインを通過して房総半島に向かい、まず鋸山に到着しました。ロープウェイで展望台まで登るのですが、ロープウェイの終点は切り立った崖のうえで、高所恐怖症の私には非常に怖かったです。しかし、展望台からは、東京湾や浦賀水道を一望でき、眺めが素晴らしかったです。遠くにスカイツリーが見え、また、大島が意外に近くに見えました。鋸山の後には、神武天皇の御代に創建されたと伝えられる由緒ある安房神社に参拝しました。七五三の時期なので、子供さんを連れた家族連れの方が多いなか、増渕町会長の提案により全員で二礼二拍手一礼し、参拝いたしました。



安房神社で集団参拝

参拝後は、昼食をいただきました。場所は和懐石のお店「花しぶき」でした。食事は豪華の一言です。お刺身など海の幸がふんだんにでてきて、しかもおいしい日本酒もいただき、いつもとは違う日曜の昼食になりました。

食後は、花倶楽部で金魚草を摘みました。ビニールハウスの中に金魚草が何列か並んでいて、自分の気に入った花を上3分の2くらいで摘み取りました。そして、帰途につきましたが、帰りは行きと違って大渋滞に巻き込まれてしまいました。しかし、そのおかげか、富士山を左手にずっと見ることができ、とくに黄昏時の富士山は見事でした。アクアラインの海ほたるで最後の休憩をして、箱崎に戻ってきたのは午後6時頃でした。

今回、初めて町会の旅行に参加しましたが、本当に楽しい旅になりました。寺元企画部長はじめ、今回の旅行を企画・実施して下さったご担当の皆様へ感謝申し上げます。また町会の旅行に参加したく、今後ともよろしく願いいたします。

河合利修

第12回 箱崎バーベキュー大会

昨年11月12日（日）、箱崎睦会主催の第12回箱崎バーベキュー大会が実施されました。

一昨年は99人の参加があり大盛況でしたが、今回はそれを上回る165人という過去最高の参加人数での開催となりました。例年ですと鉄板は1枚で対応していましたが、急ぎよ鉄板を2枚使うこととしました。箱崎公園の芝生域をすべて使うくらい大きなバーベキュー大会となりました。

当日は、天候にも恵まれて、用意した生ビールや料理は飛ぶように消費されました。今年は、新たなメニューにも挑戦してみました。

まずは、焼き芋です。参加した子供たちにも手伝ってもらい、焼き芋を作りました。子供たちも、少しはバーベキュー大会に参加した思い出が作れたのではないのでしょうか。続いて、ナムル・焼き鳥・鮭のチャンチャン焼き・餃子、最後に栗ご飯とおしるこ新メニューも好評の内、完食となりました。例年メニューの焼きそば・焼肉・フランク・イカ焼き・おでんもあつという間に完食されて行き、睦会スタッフは料理を作り続け、あつという間に2時間が過ぎました。

また、新川のビール工房「永代ブルーイング」に地ビールの試飲を行っていただきました。

来年も、また新たなメニューを試みて参りますので、楽しみにして下さい。



焼いてます！肉、肉、肉



花倶楽部で説明を聞いている箱四一同

最後になりましたが、開催に協力していただいた方々、ならびに参加していただいた方々、どうもありがとうございました。次回も大いに盛り上がりましょう。

箱崎睦会副会長 白崎敏孝



☆ちよっとお買い物☆

2011年3月の東日本大震災を受け、その年の5月に初開催された箱崎睦会主催のチャリティフリーマーケット。今年も4月の開催に向け、水面下では既に準備が始まっているとか、いないとか…!? 箱崎公園の春の風物詩である「手作り鯉のぼり」が泳ぐ下、ビニールシートを敷いて色んな物が売られています。出店者には売上の一部を義援金として出してもらい、被災地へ送るのが目的のイベントです。

ところで、フリーマーケットの会場へ足を運んでいただいたことはありますか？ イベントの名前を見ると少々重苦しい感じを受けてしまうかもしれませんが、意外と面白い物があつたりしますよ。その年の出店者にもよりますが、衣類やアクセサリ、おもちゃに電気製品まで。見ているだけでも楽しいかも？

ちなみに私の過去の買い物は、USB扇風機にスマホスタンド、某歌手のCDにタブレットパソコンまで。勤め先では、夏場にUSB扇風機が大活躍しています。意外に涼しいんですよ。

もう暫くすると、開催要項のお知らせが回覧されると思います。お客さんとして箱崎公園内を回るもヨシ！ また、出店者として品物を売るのも楽しいですよ。当日は軽食と飲み物も準備しますので、じっくりとお買い物をお楽しみください。

箱崎睦会・広報 会田 潔



箱崎ソフトボールクラブ 秋季中央区ソフトボール大会 1部優勝

まず最初に、箱崎SCに対し長年に渡り多大なる御支援、御協力を頂いております箱北・大塚英一町会長、箱崎二・三・加藤恵一町会長、箱四増淵一孝町会長、各町会役員の皆様、各町会の皆様方にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

また、創部以来運営面等、多大なる御尽力されました沼崎富雄監督、宮田二郎初代キャプテン、大木実二代目キャプテン、箱崎SCに関わってこられたメンバーの皆様全員に感謝申し上げます。

お陰様でこの度、秋季中央区ソフトボール大会1部において悲願の優勝を達成致しました。



箱崎SCは、2005年8月秋季中央区ソフトボール大会2部からスタートを切りました。初戦は蛸殻町東部町会主体の蛸東クラブで、相手チームの主戦投手のコントロールの効いた遅い球に手を焼きました。野球との違いも分からず、蛸東クラブにソフトボールの難しさを教えられ、初戦敗退となりました。

その後、悔しさをバネに練習を重ね、2008年秋季中央区ソフトボール大会2部において準優勝を飾りました。新しいユニフォームを作るというメンバーの熱い思いが達成され、1部昇格を契機に作成したのが現在使用しているユニフォームです。

昇格こそしましたが、2009年以降は2部とのレベルの差を痛感致しました。2部へ降格しないギリギリの戦いの繰り返しでした。

しかし2014年はついに力尽き、2部落ちを経験致しました。メンバー全員2部落ちだけはしたくないという思いがありましたが、この結果は大きな屈辱でした。2015年はそのまま低迷し、2部というぬるま湯に浸かってしまった状態が続きました。

2016年は今までの原因を突き詰め、ミーティングをし、迎えた春季中央区ソフトボール大会2部において準優勝を勝ち取りました。最悪期を脱しての、念願の1部復帰を果たしたのです。

2016年秋からは、目標を1部優勝と都大会出場に設定しました。2部落ちした屈辱感を決して忘れない様に、メンバー全員が強い思いを持っていました。そして秋季ソフトボール大会1部に挑みましたが、準々決勝では逆転サヨナラ負け。翌2017年春季中央区ソフトボール大会1部でも、同じく準々決勝で優勝経験のあるチームに敗退し、苦杯を喫しました。

箱崎SCは1部準々決勝の壁を乗り越えられない状態が約10年続きました。再度メンバー全員で原因を考えました。挑んだ2017年秋季中央区ソフトボール大会1部は、正直なところ勝ったというより負けなかったという表現が正しいかも知れません。宮田キャプテン、大木キャプテンはじめ、在籍しているメンバー全員が培ってきた経験が凝縮された大会であったと思います。箱崎SCは基本プレーに徹したことでミスを抑えました。相手チームは基本的なミスが多く、自滅したというイメージです。

決勝戦は18-2と大差が付きましたが、創部10年の集大成のゲームだと思いながらプレーしておりました。

さて、来年度は目標にしていた都大会に出場します。また、申請中ですが50歳以上の実年都大会にも出場予定です。箱崎SCに対し今後とも変わらぬ御支援・御声援を宜しくお願い致します。また、ソフトボールが好きな方、随時メンバーを募集しております。

最後になりましたが、いつも叱咤激励を頂き、温かい目でプレーを見つめて頂いておりました、箱崎SC永久欠番背番号3 故西山幹夫様に感謝の気持ちを添えて終わりの言葉といたします。

箱崎SC 3代目キャプテン 永富啓三郎

今年前半の主な行事予定

- 1～2月 各町会新年会
- 3月 三の部子供スケート教室
[日本橋三の部地区委員]
- 4月中旬 春の交通安全運動
- 4月下旬 手作り鯉のぼり
[箱崎イベント部]
- 4月下旬 東日本大震災復興
チャリティフリーマーケット
- 5月 子供わんぱく相撲
[日本橋三の部地区委員]
- 7月下旬 隅田川河畔ビアパーティ
[箱崎連合町会]
- 8月11～12日 箱崎宵の縁日、
富岡八幡宮例祭二ノ宮渡御
[箱崎睦会、富岡・総代会]
- 8月下旬 中央区
大江戸祭り盆踊り大会
(予定は変更になる場合があります)

地域活動関係功労者表彰 (町会・自治会関係者)

11月3日(文化の日)、銀座ブロッサム(中央会館)にて、中央区から地域活動関係功労者として箱崎町会から次の3名が表彰されました。

箱崎町箱四町会から3名
伊藤亮一
大木実
皆川慎介

賞状と記念品を受領したそうです。おめでとうございます。これからも地域発展のため、益々のご活躍をお願いします。

はこざき新聞編集部



皆川さん、伊藤さん、大木さん



箱崎睦会ホームページが 新しくなりました

従来は無料のホームページサービスを利用していましたが、有料のサービスを使用することで広告表示の無いスッキリとした形になりました。

また、睦会会員の紹介コーナーも設けました。全会員の顔写真や簡単なプロフィールを載せていきます。

「夏祭りなどでよく見かける人だけど、名前が分からないんだよね」などという時に活用してください。

生まれた年の十二支と血液型で分けしていますよ。

<http://hakozakimutsumi.kashiore.jp>

箱崎睦会・広報 会田 潔

→ → →
QRコードで
携帯電話から
接続できますよ



恒例！餅つき大会

第44回子供餅つき大会

去る十二月三日（日曜日）に恒例の第44回子供餅つき大会が盛大に執り行われました。

昨年は週末になると天気が崩れることが多く心配していたのですが、三の部地区委員の先輩が言っていた、「餅つき大会はほとんど雨に降られた記憶がない」という言葉の通り好天に恵まれ各町会から威勢の良い声が響いていました。

地区委員は前日に六百キロの米研ぎ作業があるのですが、けっこう大変な作業で、餅つき大会当日には筋肉痛が残っていました。しかし本当に大変なのは餅をつく人たちで、私も本部で作業の間に数回つかしてもらったのですが、「しんどい」の一言、その作業を男性陣みんなの力で行っていくのですから、本当に頭の下がる思いです。そのつき上がったお餅を女性陣が手際よく切り分けパックングして行く様は流石というしか言葉がありません。町内会の皆様本当にお疲れ様でした。

さて最後に私は餅つきの由来を知らなかったので調べてみると、「古来より日本には稲作信仰というものがあり、稲から採れる米は人々の生命力を強める神聖な食べ物であり、米をついて固める餅や、米から醸造される酒はとりわけ力が高いとされてきました。そこで、祝い事や特別な日である晴れの日に、餅つきをするようになったそうです。餅つきは一人ではできないため、皆の連帯感を高め、喜びを分かち合うという社会的意義もあります。」とありました。

まさに連帯感が生まれるこの餅つき大会、今回から新しい仲間も参加して頂きました。今回は参加できなかった方も来年は是非一振りお願いします！

日本橋三の部地区委員 木村明寿



三の部地区委員・箱崎代表の皆さん

子供餅つき大会なので、子供中心に集めてみました



各町会婦人部の皆さん
お餅をパック詰め

お餅つきでは「よいしょ！よいしょ！」と威勢のいい男性陣や、一生懸命に可愛く杵をふるう子供たちに目がひかれるところですね。その後ろ、テントの内では婦人部の面々がせっせとパック詰めのお餅を作り上げておりました。

今回も六百個のパックを作るとあって結構な大仕事となりました。お餅がつきあがるたびに、大急ぎで臼から運び入れ、熱々のうちに丸い形にして餡子ときな粉をのせて、ひとつひとつ仕上げてお客さんに手渡し。それぞれの担当に分かれての流れ作業は、毎年のごとくあつて皆手慣れたもので要領よくこなされていきます。メンバーの中には十年経験しているという大ベテランもいます。

つきたてのお餅はやけどしそうな熱さ。これを冷めないうちに行列を作って待つてくれているお客さんに届けるべく、ひたすら急いで手を動かします。つきあがっては作り、つきあがっては作りの繰り返しを四時間ほど、昼食も炊き出しのうどんやそばを立ち食いです（これが柚子の香りが効いた特製出汁も美味しく、密かな楽しみとされています）。終了時には立ちっぱなしの脚もへこみますが、お客さんの「つきたてのお餅は本当に美味しい」の言葉が何より嬉しいもの。毎年、買っているという人も大勢います。

なかなか口にする機会も少ないつきたてのお餅。それを美味しく届けるべく婦人部の面々は今回も頑張っております。

箱四町会婦人部 伊藤亜紀



箱崎三町会合同防災訓練

12月9日、落ち葉舞う箱崎公園で箱崎三町会合同防災訓練が108名の方々に参加して頂き行われました。

今回の防災訓練は中央区、日本橋消防署、日本橋消防署浜町出張所、日本橋消防団第三分団の協力で参集訓練、三種類の体験訓練、炊き出し訓練、という内容に加え高齢者の安否確認訓練（箱四町会のみ）が行なわれました。

まず参集訓練は災害時に無事に町会の拠点テントに来られた事を名簿に記入してもらい確認するという訓練です。名前が無ければ何か事故にあっているかもしれません。町会やご近所同士の情報伝達の間でもあります。参加された皆さんにはまず名簿に記入をして頂きました。

次に三種類の体験訓練になります。起震車、煙ハウス、街角防災訓練車による消火体験の三種類です。参加者の皆さんには自由に分かれてそれぞれのコーナーに並んでいただきました。起震車は地震の時に如何に身の安全を保てるのかを様々な地震のパターンで体験できます。震度7となればものすごい揺れで身を屈めるのが精一杯だと思います。収まった後に火の始末をする、そんな訓練ができたでしょうか。煙ハウスの訓練はテントの中に煙を充満させその中を歩いて避難するという訓練です。無害の白煙で甘い香りがしましたが、実際の現場では黒かったり刺激臭だったり猛毒だったりする訳で煙に巻かれるその危険性的一部分でも体験できたかと思えます。



午後2時過ぎ、箱崎公園に集合。



起震車には長い行列が出来ました。過去に発生した様々な大地震の揺れを再現できるそうです。



煙ハウスから無事に脱出しました!!



消防士、ただ今消火訓練中!

街角防災訓練車は都に2台しかない、今引っぱりだこの訓練車です。水槽が内蔵されていて水を循環させ、搭載のD級ポンプで筒先からの消火が出来ます。筒先からの水を的に当てる事が出来たでしょうか。ただ訓練車のコーナーは班に分けて説明をしながら時間をかけた訓練が出来た方が良かったと反省しています。体験訓練は思いのほかスムーズに流れ、起震車に多少列ができましたが約1時間でほぼ終了できました。

その間炊き出しの訓練は進み、大鍋にいっぱい豚汁と2種類の非常食が出来上がり、皆さんに振る舞われました。今回も乾燥餅は大丈夫、永山日本橋消防署長が講評で美味しかったと褒めてくれました。炊き出し担当の皆さん、ご苦労様でした。

箱四で行われた高齢者安否確認訓練は前回の反省点を踏まえ規律、節度等を守って始まりから終了まで整然とした流れで行われ、山中副会長が永山署長に報告を行い訓練を終了しました。おおむね3時半に署長に講評を頂き、参加された皆さんにはお土産としてLEDヘッドランプと電池のセットと中央区からの非常食を支給し解散となり、クリスマスツリーの点灯式に移行しました。

事前準備から当日の物資搬入等関係者のみなさんご苦労様でした。

日本橋消防団第三分団
副分団長 小笠原宣夫



クリスマスツリー点灯式

防災訓練に続いてクリスマスツリー点灯式を行いました。防災訓練とクリスマス？ 何の関わりも無い行事に思えますが、その通りです。しかし、二つの行事を前後して行えば、年末の忙しい時期でも多くの人に集まってもらえるかな？ と見込んでの同日開催でした。

2016年に続き、今回も日本橋キリスト集会の皆様には場を大いに盛り上げていただきました。聖歌合唱、ゲーム、その後はお待ちかねのツリー点灯式です。ツリーや雪だるま&星型イルミネーションは事前に設置済みでしたが、町会員の皆さんが大勢集まってくれたところで電飾を灯せばクリスマス気分も最高潮です。

子供たちへのプレゼントとしてクリスマスブーツを120個用意していたのですが、あっと言う間に無くなりました。それだけ多くの方々に集まっていたので、運営側としても嬉しい限りです。ささやかなプレゼントでしたが、喜んでいただけたでしょうか？

イベント部では、今年も春と冬に恒例となっているイベントを開催しますので、どうぞお楽しみに。

イベント部 会田 潔



日本橋キリスト集会の皆様による聖歌



イルミネーションが点灯しました!



箱崎神輿が戻ってきました

昨年8月の連合渡御が終わって、大神輿は浅草・岡田屋さんへ運ばれていきました。

ここ数年、神輿のメンテナンスのため岡田屋さんにはお世話になっています。今回のメンテナンスでは、箱北町会さん、箱二・三町会さんからも費用を出していただきました。

以降の3ヶ月間は「主」が不在の神輿庫となっていました。11月23日(木)にメンテナンスを終えた大神輿が箱崎町に戻ってきました。当日の午前中は大雨でしたが、午後はきれいな青空が広がりました。

連合渡御の日も絶好の晴天に恵まれた事を思い出しながら、集まった神輿総代と箱崎陸会メンバーで大神輿を神輿庫へ収めました。従来どおり神輿庫では大小の神輿の展示を行っていますので、よろしくお祈りします。

話は前後しますが、10月29日(日)は中央区主催の「まるごとミュージアム」が開催され、神輿めぐりコースとして箱四神輿庫が選ばれました。「まるごとミュージアム」は中央区全体を美術館に見立てて、文化や芸術を色々な方に知ってもらおうのが趣旨のイベントです。

当日は台風22号が関東地方に接近している生憎の天気でした。マイクロバスでやってきた案内役の区職員と同行のお客さんへ箱四・増淵町会長と私で神輿庫と箱四町会事務所に飾られた古い写真などを案内させていただきました。

その後、神輿めぐりコースの一行は、富岡八幡宮や晴海資料展示館、住吉神社を巡る旅に向かいました。お土産として手ぬぐい、わっしょい深川をプレゼントしたのですが、とても好評だったと区職員の方から後日お話を聞きました。

箱四町会記録広報部 会田 潔



まちかど展示館に収めた箱崎の大小神輿

新年にあたり 町会員の皆さまへ

日本の祭りは日本(地域)の力

東京MXテレビにて毎週土曜に放映されている「日本の祭り」という番組をよく見ていました。日本各地の伝統ある祭りを長いものでは年間追い続けるドキュメンタリー形式の番組です。最後の締め括りの言葉が印象的です。

「日本の祭りは長き年月、地域に守られ住民に愛されてきた。永々と受け継がれてきた文化、伝統は、その村、町の住民の心の支えであり、生活そのものである。お祭りって本当に良いものだな。」(引用は正確ではありませんが)

さて、昨年夏、三年に一度の富岡八幡宮例大祭が終了しました。箱崎三町会が半年の準備期間を経て迎える大行事です。この紙面をお借りし、改めて町会員の皆さまのご協力に感謝お礼申し上げます。

冒頭「日本の祭り」を取り上げました。祭りが「住民の支え」「生活そのものである」との例えには、いささか違和感を覚える方が多数でしょう。集合住宅居住率が85%を超える箱崎地区では「むべなるかな」と思われます。

私も箱崎では長老の域に入って参りました。少しだけ昔話を聞いて下さい。町会の一年は暮れの餅つきから始まります。お米屋さんからちん餅を買う家庭もありましたが、私の長屋は8世帯で正月用の餅をつき、家族構成に応じて配給されました。春は隣組(30世帯位が単位)の小旅行、夏は盆踊り、ご近所で葬儀があれば住民で仕切ります。通夜振る舞い婦人部の出番でした。味噌、醤油の貸し借りは日常茶飯事、赤ちゃんが生まれれば、近所のおばさんが交代でお風呂に入れてくれました。ああ、素晴らしきかなコミュニティです。

そして三年に一度の富岡八幡宮例大祭、連合渡御、盆踊り、「箱崎の夏」。住民は三年に一度を心待ちにし、日々の生活を送っていたと言っても過言ではないでしょう。遠い昔のことです。

町会運営には何か核となる行事が必要ですが、三年に一度の例大祭もその行事の一つであることは言うまでもありませんが、お祭りはただお祭りに過ぎません。住民の日々の暮らしの中から生まれる連帯が「ただのお祭り」から核となる箱崎の行事へ昇華すると思われれます。



昭和50年代初めの連合渡御の様子
首都高深川線は建設途中

月に一度の集団廃品回収、町内清掃、高齢者見守り事業などが核となり、「三年に一度」を迎える住民の連帯感を育てる一助となっています。戦後、戦前、そして今日へと箱崎の先人達が永々続けてこられました。

昭和39年の東京オリンピック以降、再開発を含め箱崎の町は大きく変貌を重ねてきました。阪神淡路大震災、東日本大震災、もろくも崩れていくコミュニティを目の当たりにし、地域(町会)が支えるべきコミュニティの姿は現在も私達は模索中です。

町会は任意団体です。住民、企業による町会費、中央区からの各種助成金によって運営されていることは事実です。長老の域に入ったと申し上げた私にとって、先人達が残してくれた各種行事の継続、文化遺産の保存も大きな役割と確信しています。昨年、例大祭終了後に浅草へ送られた大神輿は、1万を越える部品からなっています。それを解体し、陰干し後、組み立てて戻って参りました。この補修は、あくまでも大神輿を長持ちさせるためのものです。事実を申し上げれば、昭和11年に完成された名工・浅子周慶作の大神輿は、連合渡御への参加はあと15年と宣告されました。

「三年に一度のお祭り」はただのお祭り、一つの行事であると申し上げました。しかし先人達は住民の相互扶助の関係を築き、確たるコミュニティ作りの核と考えて町会運営を行ってきたことには間違いはありません。先人達の残してくれた大小神輿は、「中央区まちかど展示館」に堂々と飾られ、皆さんにご覧頂くことが出来ます。

私達は15年の宣言を受けた大神輿に代わる神輿を今より準備することが、先人達の残してくれた箱崎の文化遺産の継承と考えております。昨年、箱崎連合町会長会議にて、新神輿作成基金の設立が承認されました。詳細は平成30年中にお知らせ致します。どうぞ、ご理解、ご協力の程をお願い申し上げます。

近年、町会運営について一番のご要望は大震災時防災体制です。昨年12月に箱崎防災訓練、防災備蓄品などの行事、報告を行って参りました。皆さまご存じの大震災時の避難場所として、有馬小学校防災拠点があります。しかし、現状では受け入れ人数には限りがあります。

箱崎連合町会においては、二つの企業、団体と協定を結んでおります。大震災時、災害弱者（高齢者、障がい者、子供たち）を中心に500名を受け入れてもらうと言う協定です。諸事情もあり、名前の公表は出来ない事をお許し下さい。この事は、町会があくまでも任意団体であることも考慮されます。協定は現在も継続中であることを明記しておきます。

町会運営、新たなコミュニティ作りは、現在も暗中模索しています。しかし、各行事の中心となる箱崎睦会も年々若手が育ってきています。組織は若返りが重要であることは言うまでもありません。今後、30代、40代の住民が町会運営に携わってくれる様な組織作りを目指していきます。新年にあたり、町会員の皆さまにお祝い申し上げ、そしてお約束致します。



※昨年12月に発生した富岡八幡宮宮司殺傷事件について氏子町会として触れておきます。

私達町会は、あくまでもお祭りを通しての氏子と認識しております。お祭りは富岡八幡宮神輿総代連合会の基に運営され、各町会の神輿総代によって伝達されます。

「信教の自由」は言うまでも無く、町会として宗教的な結びつきは一切ございません。只々、富岡八幡宮の組織的再建が早々になされる様、祈るばかりです。

箱崎町箱四町会 町会長 増淵一孝



写真左の建物は、現在の箱崎町住宅首都高箱崎JCTには、まだ深川線は接続されていない

ちょっと立話

- 隠. おや、熊さん初詣かい？
 熊. あっ、ご隠居、おめでとうございます。今年もヨロシクッす。
- 隠. お上さんと仲よくお出掛なんて正月早々、うらやましいネ！
 熊. アッシはヤダヤダと言ったんですが、こいつが酒のんで家でテレビばかりじゃ体に良くない！っーもんで…
- 隠. そりゃそうですヨ。お上さんがエライ！まずは、初詣…は…一番近い「お神」からだネ！
 熊. エッ？あー、そりゃエソバしときました。そーでしたか、さすが熊さんエライ！
 隠. ところでご隠居、初詣ついては聞き取んできたが、この町内にも高尾稲荷だとか、いくつか「お社」がありますネ。あんな所にも初詣してもいいんですが、
 隠. そりゃー良いに決ってますヨ。一番近所の神様なんだから、神様もよろこんで下さると思いますヨ。
 熊. そーですネ！するすと、一番近所の神様で、…永久稲荷が一番だ！水天宮さんへ行く前に永久稲荷にお参りして行こう！
 隠. それは良い事を思いましたネ。箱崎町内には高尾稲荷の他に「お社」があるヨ。箱四のイオンマシジョンにも小さいが本派な社のお稲荷さんが有るヨ。箱崎稲荷と中洲に近い八幡龍王社昔は久世稲荷ってのも有ったナー！
 熊. 昔のことわざに「伊セ屋、稲荷に犬のフン」てなことも言われてるしナー。
 隠. 良く知っていましたネー熊さん。誰だか言っていましたヨ。箱崎七福神めぐりが出来たら町内が正月から賑やかになるって。
 熊. そりゃーいいネ！おさい銭を入れるなら箱崎町内の七福神様へマナ！

区議便り

オリンピック/パラリンピック 東京大会に向けた取り組み

新年おめでとうございます。

2020東京大会開催までカウントダウンが始まり1月1日現在935日となりました。

本区は、「2020東京大会に向けた中央区の取り組み」を2015年3月に策定し、国内外から多くの人々が集い、誰もがあこがれるまちを目指して、「スポーツ」「国際教育、交流」「観光・文化」「防犯・防災」「まちづくり」の5つの分野でさまざまな取り組みを行っており、ちょうど中間地点を過ぎたところです。

また、地域の取り組みから東京2020大会を盛り上げようという東京2020組織委員会の東京2020参画プログラムがあり、平成29年度は、昨年10月15日に行われた「子どもフェスティバル」や、本年1月13日に総合スポーツセンターで開催される恒例の「中央区新年子ども羽根つき大会」など中央区主催のイベント7件が、東京2020公認プログラムとして認証されています。町会、自治会、一般社団、NPOなど非営利団体が主催するイベントも基準に該当すれば、「東京2020応援プログラム」として認証を受けることができ、「オリンピック・パラリンピック」等の文言や大会エンブレムからデザインされた応援マークを使用できるとされています。「スポーツ・健康」「文化」「街づくり」などの8つの分野がありますので、地域においても開催への気運を盛り上げてまいりましょう。

中央区区議 染谷真人



町内にもいっぱい！ 神社やお稲荷さん



箱崎町のお店紹介 お茶のうちだ

古代中国の書物に、農業を司る神農が1日百草を噛んでみて72の毒に当たったが、お茶を飲んで毒を消したという逸話がかかれていいます。お茶による効能、効果は有名な話ですね。現在科学的に立証されているのは、

- ・心臓を守る。
- ・免疫力アップ
- ・肥満撃退
- ・ボケ防止
- ・糖尿病予防
- ・コレステロール値低下
- ・記憶力向上
- ・ガン予防
- ・食中毒予防
- ・虫歯予防
- ・口臭予防
- ・動脈硬化、脳卒中の予防、血圧降下
- ・抗インフルエンザ作用

などなど…、ここに書ききれないほどの効果が立証されています。海外でもお茶への注目度は上がっています。

箱崎町には、創業1850年、150年の長い伝統と歴史を誇るお茶のうちだがあります。出勤途中の社員が行き交う慌ただしい朝の箱崎町に薫り高いお茶の薫りが漂い、その香りだけでも癒されている社員は多いはず。毎朝、その香りを引き出すべく、合組しているのが5代目当主の内田哲夫さん。



展示・販売されている茶器類

合組（ごうぐみ）というのは、様々な産地や品種、味、香り、形状において特徴のあるお茶同士をブレンドすることを言います。お茶は通常、一種類の茶葉だけで造られるわけではなく、お客様の好みに合わせて、何種類もの茶葉をブレンドし、それぞれの特徴、長所を活かすことによって、単一のお茶にない、味や香りを引き出します。いかにバランスよく配合し、お茶どうしの長所を引き立てることができるか。これがお茶の良し悪しを決める重要なポイントになります。この合組によって、お茶はその店でしか飲むことのできない、より価値のあるお茶に生まれ変わります。

あさつゆという品種を使って合組した玄米茶と宇治のかりがねで焙煎でできたほうじ茶がお茶のうちだでは、とても人気で遠方からわざわざ購入しにくるお客さんもいます。箱崎町で購入できる貴重なこのお茶。皆さんもぜひこの合組でできた人気の玄米茶、ほうじ茶を堪能してみてくださいはいかがでしょうか？

中央区日本橋箱崎町1-8 内田ビル
電話：03-3666-5739
FAX：03-3249-0454
営業時間：平日AM8:00～PM6:00
休業日：土日、祝日
ご近所への配達、宅配はOK
湯呑、菓子皿、急須などの販売もあります。

はこぎき新聞編集部 永里智恵美



お茶ビールの紹介

お茶ビールが注目されています。お抹茶又は粉末緑茶を使ってお茶ビールを作ってみましょう。お茶の風味で上品な飲み物に変身します。ノンアルコールも雰囲気ありますよ。

例えば、缶ビール1本（350cc）にお薄茶とお濃茶では

- ・お薄茶タイプ：
ティースプーン半分の抹茶3.5g
または粉末緑茶3.5g
- ・お濃茶タイプ：
ティースプーン1杯の抹茶6.0g
または粉末緑茶6.0g



お茶碗にビールを少し入れます。



お茶を入れて茶筌で勢いよくかき混ぜます。



ダマにならないよう丁寧に泡立てます。



すごく濃く作ります。



コップにビールを入れます。



そこに作った濃いお茶を入れて出来上がり。



攪拌はしなくてそのままです。

緑茶効果でちょっと素敵に変身します。お茶の風味と機能性で素敵な時をお楽しみください。



§ 編集後記 §

あけましておめでとうございます。皆様おすこやかに新春をお迎えのことと存じます。

昭和63年1月号から始まった「はこぎき新聞」が、通巻60号・30周年を迎えました。これもご愛顧いただいている町会員皆様のご支援あってのもの感謝申し上げます。

バブル景気の真っ最中だった昭和63年（1988）には、青函トンネルの開通、東京ドームのオープン、昭和天皇の重篤報道を受けた各種行事の自粛などがありました。時代は昭和から平成へ、色々な事がありすぎて編集後記欄だけ

では書き切れません。

創刊号は2ページの構成だった「はこぎき新聞」ですが、年々ページ数が増えていきました。最大だったのは平成24年（2012）の10ページで、夏のお祭り大特集でした。最近は6～8ページの編成が多くなっています。町会員の方々には様々な記事を寄せていただいております。夏祭り後の疲れた頃に、また年末の多忙な時期に原稿を執筆していただき、感謝の言葉もございました。

1年4ヶ月後には新たな元号の時代となります。新時代に向け、これからは「はこぎき新聞」をよろしく願います。